



希望に満ちて

さいたま市立大門小学校

心豊かで たくましい
大門小児童の育成
< 夢と目標をもち、
生き生きと活動する子ども >



歌う心

さいたま市立大門小学校
校長 宮本 江津子

新緑の美しい季節となりました。学校中の木々が芽吹き、若葉色でいっぱいです。正門から校庭側にある花壇も、レッズローズが咲き始めました。

『レッズローズ』をご存知ですか？「レッズの赤」「誰からも愛される」「力強さ」をテーマにした浦和レッドダイヤモンドズの公認ローズです。大門小もこのバラのように、「みんなに愛される大門小」を目指しています。バラが咲いた朝、この真っ赤なバラが美しく咲く姿を見て「このバラを大切に育て続けていかなければ・・・と、感じました。

さて、先日、1年生を迎える会が行われました。そこで、全校児童による校歌の斉唱を聴きました。（始業式でも聴いているので、2回目でしたが）1年生に向けて歌われたこの時の校歌が、とても素晴らしく、豊かな響きのある歌声でした。その後、先週行われた音楽朝会でも、校歌が歌われましたが、その時も、同じように、よく声を出して歌っていました。その時は、1年生から順に退場していく間も、他の学年が、伴奏に合わせて歌い続けていました。

「校歌がしっかり歌える学校」っていいなあと思っています。歌声を出せる雰囲気があるということで、この空気がないと、歌は歌えません。みんなが声を出して歌っていいんだ・・・と感ずることができなければ、歌い合わせることはできないと思うのです。素直な気持ちで、心を開き、笑顔で歌っているその姿は、とても素敵でした。担当の先生が、「難しい歌詞があるので、説明します。」と言って、教えてくれた歌詞は、1番の最後の1行でした。

正しく さとく すこやかに

「これは、規律を守り 判断がしっかりできる力を持ち 健康に育っています。という大門小の校風を歌っています。」とその先生は教えていました。大門のたくさんの自然を歌った歌詞ですが、子どもたちの姿を表わしている部分が1番にも2番にも3番にもあって、とくにこの部分をしっかりと歌い、聴く人に伝えていって欲しいと思いました。思わず私も、お腹からしっかり声を出して、子どもたちといっしょに歌いました。765人の大合唱が、さらに大きくなることを期待しています。

最後に、明日から連休が始まります。5月1日は「さいたま市民の日」、5月2日は先週の土曜授業日の振替休業日となり5月6日までの6連休となります。疲れがたまっている頃だと思います。体と心を休め、安全に気を付けて過ごし、有意義なお休みとしてください。連休明けにまた元気な子どもたちに会えることを楽しみにしています。